

- 1 学校教育目標 自主・創造～豊かな心と自立する力の育成～
- 2 経営方針（めざす学校）
- (1) 自主創造の精神を基調とし、成就感や達成感に満ちた活力ある学校づくりに努める。
 - (2) 人権尊重に貫かれた人間の育成をめざし、人権・同和教育を積極的に推進し、心が通い合う学校づくりに努める。
 - (3) 生徒・教職員相互の人間的な心のふれあいを深め、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図るとともに、生きて働く学力と豊かな感性を育てる教育を推進し、魅力ある学校づくりに努める。
 - (4) 本校の伝統や特色を生かしつつ、家庭及び地域との連携を図り、創造性にあふれ、信頼される学校づくりに努める。
- 3 めざす生徒像 互いの違いを認め合い、自分らしく輝く生徒
- (1) 生命の大切さを自覚し、人間としての生き方を追求する生徒
 - (2) 自らの課題を持ち、意欲的に学習できる生徒
 - (3) 豊かな人権感覚と互いに違いを認めあえる感性をもつ生徒
 - (4) 創意工夫し、学校生活を充実させ、自分らしく輝く生徒
 - (5) ねばり強い気力と、たくましい体力をもつ生徒
- 4 努力目標
- (1) 研修体制を確立し、研修活動を継続的・発展的に推進する。
 - (2) 心に響く道徳教育を推進し、道徳的実践力の育成と基本的生活習慣の確立を図る。
 - (3) 基礎的・基本的な学力の定着に努め、学んだことを積極的に活用する生徒を育成する。
 - ① 各教科において指導内容の精選及び指導方法を工夫し、「学ぶ楽しさ、わかる喜び」が実感できる授業をつくる。
 - ② 到達度診断調査及び全国学力・学習状況調査の結果を分析し、生徒個々の学習状況と到達度の把握に努め、実情に即した学習支援を行う。
 - ③ 新学習指導要領にもとづいた授業改善及びICT機器等を活用した指導力の向上に努める。
 - ④ 授業研究を積極的に実施し、授業力向上に努める。(校内外での研修会に積極的に参加する)
 - ⑤ 家庭学習を習慣化させる取組を進める。
 - ⑥ 読書習慣を積極的に進める。
 - (4) 互いの人格や個性を認め合い、そのことを日常の生活の中で実行につなげることができる生徒を育成する。
 - ① 差別や偏見をなくす活動をしている人たちの姿に学び、差別をなくす意欲と実践力を育て、互いに高まりあう集団を育成する（集団作り）。
 - ② 生徒が自分自身を見つめ直し、自らの「生き方」について深く考えるために大中ヒューマンタイムでの出会いや体験を通して全校集会を年間5回実施する。
 - ③ 人権・同和教育に関する校内研修の充実を図る。
 - ④ 生徒をとりまく生活実態に学び、教育活動の全領域を通して、生徒一人ひとりの個性を生かし、可能性を伸ばすための人権・部落問題学習に全教職員で取り組む。
 - ⑤ Q-U調査結果や教育相談などを通じて個々の生徒理解に努め、保護者との連携を密にする。
 - ⑥ 12年間を見通し取り組めるよう、大山田中学校区の保育園、小学校との連携を深める。
 - ⑦ 國際理解教育の推進を図る。
 - ⑧ 情報モラルなどの情報教育を充実する。

- (5) 保護者や専門機関との連携に努め、一人ひとりのニーズに合った特別支援教育体制をつくる。
① 障がい者問題に対する理解を深めるとともに、教育的支援が必要な生徒に対して、個々のニーズに応じた支援体制を築く。
- (6) 自ら学び自ら考え、未来を切り拓き自立する力を育成する教育活動をすすめる。
① すべての教育活動の場で、思考し、判断し、工夫し、表現できる場面を多くつくる。
② 学年・学級活動や生徒会活動等、生徒が自主的・自律的に運営できるよう支援する。
③ 職場体験や社会貢献等の体験活動を積極的に進め、コミュニケーション力の向上を図る。
④ 情報の活用を図り、意欲的に進路を切り開く力を持つ。
- (7) 健康で安全な生活を送り、生命を大切にするとともに粘り強くやり抜く気力と体力を持つ生徒を育成する。
① 交通ルールの遵守を徹底し、登下校時等の交通安全指導を行う。
② 生命の尊重と環境保全に関する指導の充実を図る。
③ 運動技能や体力の向上と健康の保持増進をめざした保健指導や「性に関する学習」「薬物等の乱用に関する学習」を積極的に進める。
④ 学校給食を通して望ましい食習慣を身につけるよう食に関する指導を充実する。
⑤ 防災訓練や避難訓練を通して災害から身を守るための判断力や行動力を身につける。
⑥ 安全指導と校内及び通学路の安全点検を徹底する。
- (8) 家庭や地域、関係機関等との相互理解・信頼関係を築き、開かれた学校づくり・信頼される学校づくりをすすめる。
① 保護者や地域との望ましい関係づくりを心がけ、授業参観、大中祭・体育祭等の学校行事への参画を求める。
② 「学校だより」や「学年通信」「学級通信」の発行、学校ホームページの更新により、情報発信とその充実に取り組む。

5 めざす教師像

- (1) 学ぶ意義を理解させ、生徒が主体的に追求する学習活動を創造する教職員
① 日々の授業の諸準備や教材研究を確実にする等、授業力の向上を図る。
② 支え合い学び合う関係を築き、より教育効果が高まる教職員集団づくりに努める。
- (2) 常に課題を持ち、問題解決に意欲を燃やす教職員
① 職員間の報告・連絡・相談を大切にし、共通理解・認識のもと指導を行う。
② 指導に関わる多方面の情報をつかみ、生かす努力をする。
- (3) 教育愛に燃え、使命感・責任感をもって愛情深く生徒を見守る教職員
① 常に「子どもに愛情をもって育てる」という視点で一人ひとりの生徒と向き合い、生徒の思いや生活背景をとらえる。
② 保護者と直接話す機会を増やし、気持ちを理解するよう努力する中で、信頼関係を深める。
③ 生徒・保護者の多様な願いや想いを迅速に把握し、生徒の力や可能性を引き出す。
- (4) 差別をなくしていく感性と実践力を持つ、人間性豊かな教職員
① 生徒一人ひとりの個性を生かし、可能性をのばすために、教育活動の全領域を通して人権・部落問題学習に取り組む。（常に、日常ヒューマンタイムを念頭に置く。）
② 校外における研修の機会には積極的に参加する。
- (5) 職員、家庭、地域との連携に努め、優しさと厳しさを兼ね備えた信頼される教職員
① 常に生徒や保護者の立場に立って考える。
② 学校に関わる校内外の課題に対し、組織で解決する発想と行動力をもつ。
- (6) 健康な身体と心を持つ教職員
① 業務の効率化・簡素化など、過重労働・総勤務時間の縮減に向けた働き方改善を進める。
② 伊賀市総括安全衛生委員会の重点目標に即した年休を取得するよう努める。
③ 週一回の定時退校日（水曜日）を設け、定時に全員が退校できるよう努める。
（ノーパーク活動・ノーリラフター・会議は1時間以内を目標に）
④ 生徒・保護者の信頼を高められるよう、毎学期にコンプライアンスミーティングを行う。
⑤ 校内安全衛生委員会を定期的に行い、勤務実態の把握及び改善に努める。